

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第7回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

- ・ 津有区の特長を生かした地域活性化策について
 - 前島密翁顕彰団体の活動について
 - 情報交換会の開催について

3 開催日時

令和3年11月29日（月）午後6時30分から午後7時30分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：猪俣敦子、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、田中博三（副会長）中島 功
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席3名）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・ 会議録の確認者：相馬委員

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「前島密翁顕彰団体の活動について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

まず、前回の古川 仁委員からの質問に回答する。戸野目小学校と雄志中学校では総合学習で前島記念館を訪れ、現地学習会を行っていることを確認したため、報告する。

また、今後の自主的審議の参考とするため、前島密翁顕彰団体の活動について情報提供する。

【小林センター長】

- ・スクリーンを使って以下の内容について報告。

内容① 前島密翁ゆかりの地を結ぶオンライントークイベントの様子

正副会長より、補足や当日の感想等を願う。

【田中副会長】

前島密翁は1円切手になっているが、今の価値では最低の価格である。当時の1円は1,000円以上の価値はあったのではないかと、前島記念館の利根川館長に聞いたことがある。

今度、渋沢栄一が1万円札となるため、前島密翁ももう少し格上げしてもよい時期ではないかと思った。

【藤本会長】

3点話したい。

1点目。前島密翁が、鹿児島・静岡・岩手と、全国を歩いていることを受けて、上越の「前島密翁を顕彰する会」では、すべての場所に出向いて足跡を辿っているということを知り、熱意を感じた。

2点目。まだ謎に包まれた前島密翁の足跡を、全国の人が解明のために頑張っていることを知り、上越も負けていられないと強く感じた。

3点目。参加者全員に共通して、やはり生誕の地である上越市民には、もっと前島密翁の足跡を知って欲しいという強い願いを感じた。

こうした思いは、当協議会で現在取り組んでいることと繋がっている。

【小林センター長】

- ・引き続きスクリーンを使って以下の内容について報告。

内容② 「前島密とふれあう」ふれあいハガキコンクール 表彰式の様子

内容③ 地域協議会だより第 67 号の発行

【藤本会長】

質問や感想等あれば、発言を求める。

(発言なし)

地域活動支援事業について、自分たちが採択した事業の進捗状況について質問があった。今回の地域協議会だよりで、各事業の状況説明があったため納得できたと思う。

また、地域住民が見て、「地域協議会とは何を行っているのか」ということに対する 1 つの答えがあったと思う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「前島密翁顕彰団体の活動について」を終了する。

次に、「情報交換会の開催について」に入る。事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料 1 に基づき、説明

【藤本会長】

資料 1 は、前島密翁関係団体との情報交換会の実施計画（案）である。これまでの会議の中で、「関係団体とコンタクトを取りながら進めていきたい」との意見があったため、今回企画した。

資料内の「1 目的」から「6 案内先」について確認し、必要に応じて修正していく。

まず、「1 目的」について、質問や意見のある委員の発言を求める。

(発言なし)

では、資料 1 記載の内容で進めることとする。

次に「2 日程等」についてである。まだ具体的な日時は決定しておらず、候補日の中から 1 番多くの団体が参加できる日を選んでいくことになると思う。

気になる点としては、1 月の降雪の具合が読めない。天候によっては、予定が変わる可能性もある。その辺りも考慮して決めていくことになる。

「2 日程等」について、質問や意見のある委員の発言を求める。

(発言なし)

では、資料 1 記載の方向で進めることとする。

次に「3 出席者」である。

出席者については、「6 案内先」と連動する。事務局と前島記念館の利根川館長で相談した結果、記載の 8 団体を考えている。1 団体 2 人程度の出席で計画しており、地域協議会委員と事務局を含めると 30 人程度の参加になると思う。

「3 出席者」について、質問や意見等ある委員の発言を求める。

(発言なし)

では、これも資料 1 記載の内容で進めることとする。

次に 1 番大事なところである、「4 当日の進め方」である。

昨年度開催した町内会長との意見交換会と同様に、最初に全体会を行い、途中からグループ討議、そして再び全体会との流れで考えている。

「4 当日の進め方」について、意見や質問のある委員の発言を求める。

【大滝委員】

昨年度行った町内会長との意見交換会では、確か 5 つ程のグループに分かれて討議した。自分のグループは、1 人の委員が遅れて参加した。各グループに地域協議会委員が 2 人の場合、万が一 1 人欠席した場合、1 人で進行や議事録をまとめなければならない。

そのため、あまり細かくグループ分けをせず、3 つから 4 つ程度のグループがよいかと思っている。

【藤本会長】

資料 1 の中には、グループ討議についての詳細は特に明記していない。

確かに、前回と同様に 5 つのグループに分かれる場合、もし 1 人の委員が欠席すると、全てを 1 人で行わなければならない。3 つ・4 つのグループであれば、自分たちも安心して進行や記録ができると思う。

他に意見等あるか。

(発言なし)

日程が決まり、出席する人数にもよるが、3 つから 4 つのグループで進めることとしてよいか。

(よしの声)

他に意見等あるか。

(発言なし)

次に「5 資料」についてである。

参考資料として、「第 6 回 地域協議会の資料 2」と、「地域協議会だより第 67 号」を配布したいと考えている。

この他、資料について発言を求める。

(記載内容でよしの声)

よしの声があったため、資料 1 記載の内容を配布資料とする。

最後に「6 案内先」である。

案内先については、先ほども少し確認したが、8 団体の名前が挙がっている。これらの団体に案内することとしてよいか。

(よしの声)

では、記載団体に案内することとする。

本日、いただいた意見を基に、情報交換会の準備を進めていく。

町内会長との意見交換会と同様に、進行や記録等を委員が行うことになると思うため、協力願う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」の「情報交換会の開催について」を終了する。

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

先ほど確認したとおり、「関係団体との情報交換会」については、団体との調整により具体的な日程等を調整することになる。

・前島密翁関係団体と津有区地域協議会との情報交換会

日時：別途調整（1 月頃） 午後 6 時 30 分から

会場：津有地区公民館 大会議室

次に、第 8 回地域協議会の日程についてである。

前回の会議の中で「会議開催日の中間評価」として、アンケートを取ってはどうか、との意見があり、本日、委員より提出いただいた。なお、本日欠席の委員からは事前に意見を得ている。アンケート結果について、事務局より説明を求める。

【山崎主事】

本日の会議開催前に、アンケートに協力いただいた。

本日出席の 9 人の委員全員が、開催日・開催時間ともに「現状のとおりを希望」との結果であった。また、欠席の委員のうち 1 人から「土日の日中開催がよい」との意見があった。

【藤本会長】

1人を除き、他全員が「現状のとおりを希望」との結果であった。

この件について意見等あるか。多数決で決することもどうかと思っている。

少数意見はあまり出席できていない委員の意見だと思うが、土日となると仕事以外の部分で逆に多忙な委員もいるかもしれない。

【大滝委員】

時期にもよると思う。例えば週末に畑や田んぼ等の作業をする委員もいると思う。

【藤本会長】

土日の場合、厳しい面があるかもしれない。

また、「月末の月曜日の6時半から」と日程が決まっていると、他の会合等の照会の際、都合が付けやすい。

では、中間評価をした結果、やはり「現状どおり」との方向としてよいか。

(よしの声)

では、「現状どおり」の開催とする。

— 日程調整 —

・第8回地域協議会

日時：令和4年2月28日（月） 午後6時30分から

会場：津有地区公民館 大会議室

内容：情報交換会の振り返り

その他、何かあるか。

【古川 仁委員】

自分の認識不足だが、資料1の「6案内先」内にある「ちりつも観光プロジェクト」とはどのような団体か。

【藤本会長】

事務局より補足願う。

【小林センター長】

関係団体と意見交換をするにあたって、各団体がどういった活動をしているか様々調べているところである。

「ちりつも観光プロジェクト」に関しては、直接、どのような活動をしているのかまだ聞いていない。ただ新聞等では、住民が作成したはがきを活用してもらうための

活動をしていると見聞きしたことがある。

【藤本会長】

詳細が分かった時点で報告できると思う。

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。